
流通ビジネスメッセージ標準 共同実証参加企業による パネルディスカッション

共同実証参加企業

1. 平成19年度策定のメッセージ・スキーマの精度向上

- ◆平成19年度策定の業務プロセス、メッセージが、現行業務を担保しつつ適合するかどうかを検証し、標準化対象領域の拡大が可能であることを確認する。
- ◆スキーマ構造と、業務プロセス及びメッセージとの間に矛盾点がないかどうかを検証し、スキーマの有効性を明確化する。

2. 流通ビジネスメッセージ標準の商材拡大検証

- ◆複数商材の取引先との検証を実施することで、商材拡大時におけるシステム導入拡大の容易性を検証する。
- ◆より多くの企業における導入を促進する際には、個別仕様や誤認識のない展開方法を確立する必要があり、運用ガイドラインやメッセージ項目一覧の必要充分性を検証する。

平成19年度の共同実証では、昨年度実証したグロサリ商材からのさらなる商材
拡大として、アパレル・生鮮を対象とした共同実証を行う。

《アパレル》		《生 鮮》
商品カテゴリ	衣料品	食肉、青果、水産物
業務	6業務＋値札	6業務＋集計表作成データ
メッセージ・スキーマ	標準メッセージ Ver1.1	生鮮 標準メッセージ Ver.1.0
接続形態	N対N(小売 対 卸) マルチベンダ環境	N対N(小売 対 卸) マルチベンダ環境
プロトコル	ebXML MS、JX手順、AS2	ebXML MS、JX手順、AS2

共同実証体制図

経済産業省 平成19年度
流通システム標準化事業

